

—暮らしを育む輪を描きつづけて—

株式会社 アンドー



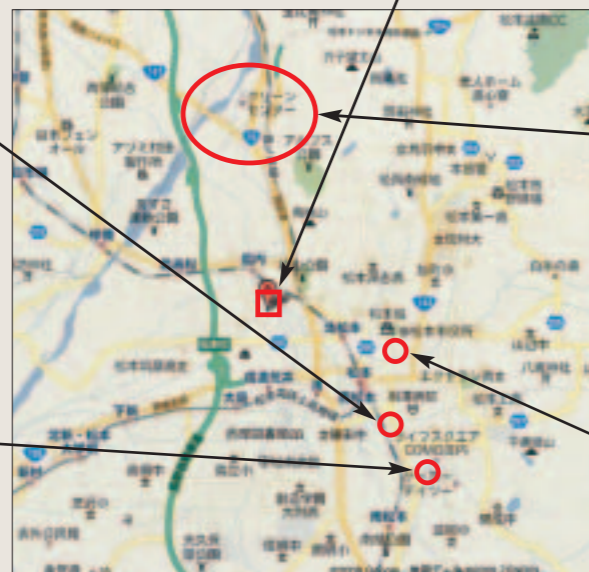
所在地：〒390-0851 長野県松本市島内3481-1
 TEL：0263-48-0480
 FAX：0263-48-0360
 URL：http://www.kkandoh.co.jp
 従業員：60名
 設立：1962年
 代表者：代表取締役社長 島村 武



株式会社アンドー(本社)



橋梁：柳橋



自社の周囲約5km圏内で過去に手掛けた業務の一例



道路：高家バイパス



河川：女鳥羽川(国交省関東地整「魅力ある関東のいい川づくり」で1位)



公園：庄内公園(工事中)



株式会社フォレスト(木くず現場破砕)



株式会社ヒューテック(管内カメラ調査・マンホール蓋補修、下水処理場管理)



アンドーグループの構成会社とその業務内容(数年前から新規事業展開のために関連会社を設立)



株式会社アンドー(設計検討)

これまでの歩み

当社は昭和37年設立以来、長野県内における建設コンサルタント業務(計画、測量、設計)の牽引役として業歴を重ね、そうしたなかで、県内業者のうちでもトップクラスの売上額、保有資格者数などを維持するとともに、高い「知名度」と「信頼」を得てきました。また、建設コンサルタント協会をはじめ測量設計業協会や補償コンサルタント協会など、関係する業界団体の役員として、国・長野県・市町村など発注者への働きかけや県内企業の技術者向けの研修会開催等を通じ、業界の地位向上のために尽力してきました。

立地条件

本社を置く松本市は、長野県のほぼ中央に位置し、日本アルプスに代表される大自然の宝庫で、著名な観光地である上高地も市域に含み、市内や近隣には温泉地が数多くあります。また、市街地は国宝松本城を中心に400年以上の歴史を持つ城下町として

の趣を残しています。

支店・営業所を展開する県内各地についても、同様にそれぞれ独自の歴史や風土があり、私たちはそこに暮らしながら、それらを守り、活かしていくことを重要な仕事のひとつとしています。

地域密着の視点

私たちが日頃手掛けている業務の対象は、自分たちのごく身近に存在するものがほとんどであり、典型的な地域密着型のコンサルタントとして、身近な課題と向き合っています。

地方のコンサルタントに身を置く者が、その発想の原点として、最も大切にすべきと感じることは、「自分が作るものについては、即自分自身も使う立場になる」という点です。私たちが調査・測量し、設計している道路、橋、水路、公園、街並みなどは、すべて私たち自身が日々の生活のなかで利用していくものばかりです。

『使用者の視点から社会資本へのニーズをつか

み、自分たちの仕事に反映させること。』

私たちは日常的にそれができる立場にあるということをしかりと自覚し、何が必要で何が不要なのか、どのような機能が大切なのかといったことを、他人事ではない自らの問題として捉え、提案することが重要であると考えています。そして、少しでも広い視野に立って的確な提案ができるような知識と経験を積むべく研鑽に努めています。

拡がる輪

『地域の暮らしや産業の支えとなる社会資本について、

- ◆地域の歴史や風土を踏まえ、未来を見据えて整備すること
- ◆そして造り出された社会資本を適切に管理し、効率的に運用すること
- ◆さらには寿命を迎えたり使命を終えたものについては、再生・再利用すること

を目指し、その各段階にそれぞれ高い専門性を持つ

た技術者集団を配して、相互に連携を保ちながらグループワークを展開していくこと。』

これが私たちのこれからの基軸です。

これまで私たちは主に整備の段階において、測量・土木設計(建設コンサルタント6部門登録)、補償、建築設計といった多様な業務展開を行ってきました。

そして現在はそれらに加え、管理・運用、再生・再利用の各段階においてもグループ会社を通じて新たな業務を展開するとともに、そこから得たものを整備段階の業務にフィードバックしています。

社会資本とそれを取り巻く環境をトータルにマネジメントすることで、地域とそこに生活する人々に、生命をその輪廻の中で育むかけがえのない大自然のような存在価値を認めてもらうこと、そしてこの地域に暮らしたいと考える専門技術者に、魅力的で働きがいのある職場を提供していくことを私たちは目指しています。

(文：常務取締役 平林正守)